

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月14日

上場会社名 株式会社 フォーバル
 コード番号 8275 URL <http://www.forval.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中島 將典
 (氏名) 加藤 康二

TEL 03-3498-1541

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	23,742	1.1	336	66.2	336	92.5	201	200.4
22年3月期第3四半期	23,484	△8.4	202	—	174	—	67	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	14.87	—
22年3月期第3四半期	4.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
23年3月期第3四半期	15,190		5,375		32.2	360.47
22年3月期	15,814		5,126		29.2	340.03

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,889百万円 22年3月期 4,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				12.50	12.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	5.6	700	33.7	700	46.3	400	△11.0	29.49

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	13,866,311株	22年3月期	13,866,311株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	302,617株	22年3月期	302,323株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	13,563,848株	22年3月期3Q	13,761,005株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策の効果や新興国の需要拡大を背景に持ち直しの動きが続いていましたが、円高に加えて国内の政策効果の息切れが重なり、これまで主導してきた輸出や生産に鈍化の兆しがみられました。このような環境のもと当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同四半期に比べ257百万円増加し、23,742百万円（前年同四半期比1.1%増）となりました。フォーバルテレコムを中核としたビジネスグループの売上が前年同四半期比で減少したものの、フォーバルを中核としたビジネスグループの売上が増加したことによります。

営業利益は336百万円（前年同四半期比66.2%増）、経常利益336百万円（前年同四半期比92.5%増）となりました。フォーバルを中核としたビジネスグループが前年同四半期に比べて大幅に改善していることに加えて、フォーバルテレコムを中核としたビジネスグループも普通印刷を手がける企業の業績が回復していることなどによるものです。

四半期純利益は201百万円（前年同四半期比200.4%増）となりました。これは投資有価証券評価損53百万円、減損損失46百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額32百万円などによるものです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

売上高は9,571百万円、セグメント利益は142百万円となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

売上高は9,454百万円、セグメント利益は299百万円となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

売上高は4,504百万円、セグメント利益は41百万円となりました。

<その他事業グループ>

売上高は211百万円、セグメント利益は0百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ623百万円減少し15,190百万円となりました。

(流動資産)

流動資産は9,137百万円となり、前連結会計年度末比633百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金の増加513百万円、受取手形及び売掛金の減少1,077百万円によるものです。

(固定資産)

固定資産は6,048百万円となり、前連結会計年度末比12百万円の増加となりました。これは主としてリース資産の増加による有形固定資産の増加34百万円、のれん、ソフトウェアなどの償却による無形固定資産の減少258百万円、保有有価証券の時価の回復による投資その他の資産の増加236百万円によるものです。

(流動負債)

流動負債は6,324百万円となり、前連結会計年度末比1,429百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少685百万円、短期借入金の減少560百万円によるものです。

(固定負債)

固定負債は3,490百万円となり、前連結会計年度末比557百万円の増加となりました。これは主として長期借入金の増加235百万円、退職給付引当金の増加84百万円によるものです。

(純資産)

純資産は5,375百万円となり、前連結会計年度末比249百万円の増加となりました。これは主として四半期純利益201百万円による増加、剰余金の配当169百万円による減少、その他有価証券評価差額金の増加246百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は3,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ513百万円の増加となっております。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,076百万円(前年同四半期は641百万円の獲得)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が197百万円に対して、資金支出のない費用である減価償却費が273百万円であったのに加え、売上債権の減少による資金の増加1,075百万円及び仕入債務の減少による資金の減少686百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2百万円(前年同四半期は61百万円の獲得)となりました。これは主として無形固定資産の取得による支出55百万円、投資有価証券の売却による収入45百万円、貸付けによる支出67百万円、貸付金の回収による収入73百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は559百万円(前年同四半期は574百万円の使用)となりました。これは主として短期借入金の純減少額660百万円、長期借入金の返済による支出84百万円、配当金の支払額(子会社の少数株主への配当含む)226百万円及び長期借入れによる収入420百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、平成22年10月21日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計方針の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ5,648千円、税金等調整前四半期純利益は38,411千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は13,108千円であります。

・表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,886,360	3,372,940
受取手形及び売掛金	3,624,066	4,701,323
商品及び製品	335,191	345,589
仕掛品	76,403	49,871
原材料及び貯蔵品	17,714	29,482
その他	1,278,199	1,376,379
貸倒引当金	△80,801	△104,963
流動資産合計	9,137,135	9,770,623
固定資産		
有形固定資産	924,681	890,606
無形固定資産		
のれん	993,716	1,161,387
その他	328,463	419,554
無形固定資産合計	1,322,180	1,580,941
投資その他の資産		
投資有価証券	2,906,118	2,569,431
その他	1,389,489	1,454,329
貸倒引当金	△494,438	△459,390
投資その他の資産合計	3,801,170	3,564,370
固定資産合計	6,048,032	6,035,918
繰延資産	5,698	7,705
資産合計	15,190,866	15,814,248
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,194,423	3,880,361
短期借入金	1,089,700	1,650,310
未払法人税等	75,069	64,711
賞与引当金	114,383	—
役員賞与引当金	25,000	10,200
その他	1,825,685	2,148,579
流動負債合計	6,324,261	7,754,162
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	479,438	243,712
退職給付引当金	1,492,220	1,407,335
その他	1,019,009	782,262
固定負債合計	3,490,668	2,933,309
負債合計	9,814,929	10,687,471

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	△2,790,835	△2,822,954
自己株式	△101,518	△101,446
株主資本合計	3,746,420	3,714,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,143,935	897,838
為替換算調整勘定	△1,019	—
評価・換算差額等合計	1,142,915	897,838
少数株主持分	486,600	514,564
純資産合計	5,375,936	5,126,776
負債純資産合計	15,190,866	15,814,248

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	23,484,858	23,742,782
売上原価	17,233,105	17,117,324
売上総利益	6,251,752	6,625,458
販売費及び一般管理費	6,049,489	6,289,306
営業利益	202,263	336,151
営業外収益		
受取利息	3,978	4,159
受取配当金	5,851	9,475
持分法による投資利益	—	387
その他	26,001	27,599
営業外収益合計	35,831	41,622
営業外費用		
支払利息	31,394	25,176
持分法による投資損失	20,567	—
その他	11,355	16,130
営業外費用合計	63,317	41,307
経常利益	174,776	336,466
特別利益		
固定資産売却益	—	1,074
投資有価証券売却益	89,068	7,391
持分変動利益	4,444	—
貸倒引当金戻入額	12,570	7,826
受取弁済金	—	7,249
その他	2,385	4,032
特別利益合計	108,468	27,575
特別損失		
前期損益修正損	20,000	—
固定資産除売却損	6,579	2,040
投資有価証券売却損	15,895	—
投資有価証券評価損	26,814	53,125
減損損失	755	46,866
貸倒損失	2,093	—
事務所移転費用	—	23,835
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	32,762
過年度不正流用損失	2,660	—
その他	16,659	8,409
特別損失合計	91,459	167,039
税金等調整前四半期純利益	191,786	197,002
法人税、住民税及び事業税	23,714	69,562
法人税等調整額	82,605	△105,307
法人税等合計	106,320	△35,744
少数株主損益調整前四半期純利益	—	232,747
少数株主利益	18,326	31,079
四半期純利益	67,139	201,668

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	7,434,397	7,652,237
売上原価	5,424,736	5,576,372
売上総利益	2,009,661	2,075,864
販売費及び一般管理費	1,977,043	2,069,227
営業利益	32,617	6,636
営業外収益		
受取利息	1,199	1,281
受取配当金	32	663
保険配当金	1,823	2,089
持分法による投資利益	—	3,253
その他	3,566	6,193
営業外収益合計	6,621	13,482
営業外費用		
支払利息	9,772	8,220
持分法による投資損失	6,031	—
その他	3,382	4,223
営業外費用合計	19,186	12,443
経常利益	20,052	7,675
特別利益		
投資有価証券売却益	67,104	4,075
貸倒引当金戻入額	3,890	3,420
その他	528	4,032
特別利益合計	71,524	11,528
特別損失		
固定資産除売却損	2,013	86
投資有価証券評価損	21,189	6,721
減損損失	—	46,609
事務所移転費用	—	6,543
その他	6,119	6,760
特別損失合計	29,322	66,722
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	62,253	△47,518
法人税、住民税及び事業税	7,429	△49,112
法人税等調整額	45,580	△40,604
法人税等合計	53,010	△89,716
少数株主損益調整前四半期純利益	—	42,198
少数株主利益	6,108	25,677
四半期純利益	3,134	16,520

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	191,786	197,002
減価償却費	278,765	273,073
のれん償却額	126,045	130,059
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△86,097	17,576
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	15,408
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	25,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	97,791	84,885
受取利息及び受取配当金	△9,829	△13,635
支払利息	31,394	25,176
持分法による投資損益 (△は益)	20,567	△387
持分変動損益 (△は益)	△4,444	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△73,173	△6,704
固定資産除売却損益 (△は益)	6,579	965
減損損失	755	46,866
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	32,762
投資有価証券評価損益 (△は益)	26,814	53,125
売上債権の増減額 (△は増加)	892,275	1,075,713
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34,759	△4,367
仕入債務の増減額 (△は減少)	△757,704	△686,395
未払金の増減額 (△は減少)	—	△170,184
その他	△5,057	29,219
小計	701,708	1,125,160
利息及び配当金の受取額	9,100	12,998
利息の支払額	△24,328	△22,156
法人税等の支払額	△44,506	△39,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	641,974	1,076,436
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,354	△28,653
有形固定資産の売却による収入	484	4,761
無形固定資産の取得による支出	△31,924	△55,567
投資有価証券の取得による支出	△19,801	△11,411
投資有価証券の売却による収入	111,537	45,587
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△23,431	—
長期貸付金の回収による収入	24,651	—
貸付けによる支出	—	△67,145
貸付金の回収による収入	—	73,818
その他	47,786	35,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,947	△2,877

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△698,126	△660,000
長期借入れによる収入	190,000	420,000
長期借入金の返済による支出	△297,594	△84,884
社債の発行による収入	474,028	—
配当金の支払額	△170,853	△168,008
少数株主への配当金の支払額	△59,083	△58,884
その他	△13,219	△8,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574,847	△559,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	△124	△191
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	128,949	513,419
現金及び現金同等物の期首残高	2,731,707	3,355,940
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△19,257	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,841,399	3,869,360

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	6,773,216	16,711,642	23,484,858	—	23,484,858
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	42,969	58,185	101,154	(101,154)	—
計	6,816,186	16,769,827	23,586,013	(101,154)	23,484,858
営業利益	65,873	136,389	202,263	—	202,263

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な商品及び役務の名称

事業は市場及び販売方法の類似性によりセグメンテーションしております。

事業区分	主要な商品及び役務
機器関連事業	電話機・ファクシミリ・パーソナルコンピュータ・複写機等の直接販売及び代理店販売
ネットワーク関連事業	国際・国内通信のサービス 情報ネットワーク接続に関するハード・ソフトの開発及び販売 Web関連 セキュリティ関連 その他

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、企業グループ別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、企業グループ別のセグメントから構成されており、「フォーバルビジネスグループ」、「フォーバルテレコムビジネスグループ」及び「モバイルショップビジネスグループ」の3つを報告セグメントとしております。

「フォーバルビジネスグループ」は、株式会社フォーバルを中心に、主としてオフィス用OA・ネットワーク機器の販売、サービスの取次、中小法人様向けコンサルティングサービスを行っております。「フォーバルテレコムビジネスグループ」は、株式会社フォーバルテレコムを中心に、主としてVoIP、モバイルなどの通信サービス全般の提供や普通印刷・特注文具(ファイル・バインダー等)の製造及び販売、保険サービス等を行っております。「モバイルショップビジネスグループ」は、株式会社リンクアップを中心に、主としてモバイルショップにおいて携帯端末の取次を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,571,982	9,454,949	4,504,342	23,531,274	211,508	23,742,782
セグメント間の内部売上 高又は振替高	732,577	654,456	23,860	1,410,894	33,574	1,444,468
計	10,304,559	10,109,406	4,528,203	24,942,168	245,082	25,187,251
セグメント利益	142,994	299,728	41,860	484,583	538	485,121

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	484,583
「その他」の区分の利益	538
セグメント間取引消去	△11,873
のれん償却額	△130,059
棚卸資産調整額	△7,037
四半期連結損益計算書の営業利益	336,151

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間においては41,721千円であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。